

さがみはらバイオガスパワー株式会社と 「災害時における電力供給に関する覚書」を締結しました

2050年における脱炭素社会の実現を目指す本市は、地球温暖化に伴う気候変動の影響により自然災害が激甚化する中、災害発生時における市及び市民への電力供給を目的として、さがみはらバイオガスパワー株式会社と「災害時における電力供給に関する覚書」を締結しましたのでお知らせします。

1 締結日

令和4年6月15日（水）

※ 本覚書にかかる締結式は行いません。

2 覚書締結の目的

災害時において、市及び市民に電力を供給することを目的とする。

※電力の供給は、バイオガス発電設備が発電の開始を予定している令和5年秋以降

3 締結内容

地震災害、風水害等による停電の発生時において、さがみはらバイオガスパワー株式会社が運営するバイオガス発電設備において発電した電力を以下の方法で無償提供する。

- (1) さがみはらバイオガスパワー株式会社が所有する電気自動車充電設備を市が無償で使用し、公用車を充電する。
- (2) さがみはらバイオガスパワー株式会社が所有する電気自動車を市が無償で使用し、避難所等において、市民に電力を供給する。

4 覚書締結団体の概要

(1) 団体名

さがみはらバイオガスパワー株式会社

(2) 代表者

高橋 巧一 氏

(3) 所在地

相模原市中央区田名塩田1丁目16番14号



※同団体は、飼料化に適さない食品廃棄物を主原料とした、メタン発酵バイオガス発電事業（発電規模：出力528kw）を実施する予定です（別紙参照）。

問合せ先 ゼロカーボン推進課
電話番号：042-769-8240
対応責任者：角田

「さがみはらバイオガスパワー」プロジェクトについて

1 食品残さのリサイクル

株式会社日本フードエコロジーセンター(代表取締役:高橋巧一氏)は食品関連事業者で発生する食品廃棄物を、独自技術で殺菌・発酵処理し、リキッド発酵飼料(液体状飼料)を製造する企業です。

本プロジェクトによるバイオガス発電プラントの稼働後は、これまで受入れできなかった「飼料化に向かない食品残さ」をバイオガス発電用原料とし、さがみはらバイオガスパワー株式会社(代表取締役:高橋巧一氏)へ供給します。

これにより、「飼料化」と「メタン化」という2種類のリサイクル手法に対応できるようになります。

2 バイオガス発電プラント

さがみはらバイオガスパワーの発電プラントは、株式会社日本フードエコロジーセンターと同じ工業団地内で、道路を挟んで向かい側の敷地を建設予定地として、工事が進められています。

3 出資団体

このプロジェクトの事業主体であるさがみはらバイオガスパワー株式会社には、株式会社日本フードエコロジーセンター、一般社団法人グリーンファイナンス推進機構(環境省の地域脱炭素投資促進ファンド事業の執行団体)、株式会社ジャパンインベストメントアドバイザーのほか、計5社の出資が決定されています。

<参考>

株式会社日本フードエコロジーセンターは、2018年12月21日に第2回「ジャパンSDGsアワード」において、最優秀賞である「SDGs推進本部長(内閣総理大臣)賞」を受賞しました。

このアワードは、SDGs推進本部(SDGs推進本部長 内閣総理大臣)が、持続可能な開発目標(SDGs)達成に資する取組を行っている企業・団体等を選定し表彰しているものです。

捨てられてしまう食品を活用した液体飼料の製造により、「循環型社会」の構築に貢献している点が評価されました。

1 食品残さのリサイクル

(株)日本フードエコロジーセンター(代表取締役:高橋巧一)は食品関連事業者で発生する食品廃棄物を、独自技術で殺菌・発酵処理し、リキッド発酵飼料(液体状飼料)をする

企業です。

本プロジェクトによるバイオガス発電プラントの稼働後は、(株)日本フードエコロジーセンターでこれまで受入れできなかった「飼料化に向かない食品残さ」をバイオガス発電用原料とし、さがみはらバイオガスパワー（代表取締役：高橋巧一）へ供給します。

これにより、「飼料化」と「メタン化」という 2 種類のリサイクル手法に対応できるようになります。

2 バイオガス発電プラント

さがみはらバイオガスパワーの発電プラントは、(株)日本フードエコロジーセンターと同じ工業団地内で、道路を挟んで向かい側の敷地を建設予定地として、工事が進められています。

3 出資団体

このプロジェクトの事業主体であるさがみはらバイオガスパワー(株)には、(株)日本フードエコロジーセンター、一般社団法人グリーンファイナンス推進機構（環境省の地域脱炭素投資促進ファンド事業の執行団体）、(株)ジャパンインベストメントアドバイザーのほか、計 5 社の出資が決定されています。

<参考>

(株)日本フードエコロジーセンターは、2018 年 12 月 21 日に第 2 回「ジャパン SDGs アワード」最優秀賞を受賞しました。

このアワードは、SDGs 推進本部（SDGs 推進本部長 内閣総理大臣）が、持続可能な開発目標（SDGs）達成に資する取組を行っている企業・団体等を選定し表彰しているもので、(株)日本フードエコロジーセンターは最高賞である、SDGs 推進本部長（内閣総理大臣）賞を受賞しました。

捨てられてしまう食品を活用した液体飼料の製造により、「循環型社会」の構築に貢献している点が評価されました。

以 上